

事業完了報告書（広島市）

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 令和7年3月15日
調査研究事項	以下のⅠ～Ⅴのいずれであるかを記載した上で、研究テーマを明記する。 Ⅰ．教育課程、教育環境整備に関すること
調査研究のねらい	○ 本市夜間学級に在籍する生徒の約9割は外国籍である。多くの外国籍生徒の実態として、日本語を基礎から学ぶ必要があり、国籍・母語も多様で年齢層も幅広く、個々の学習歴や文化的背景及び就労状況や家庭状況も様々である。 戦後間もなく設置された本市夜間学級は歴史が長く、これまでも多くの生徒の学び直しを保障してきた。その実践等を共有するため、令和5年度に行われた第69回全国夜間中学校研究大会・奈良大会では、本市教員が夜間学級のキャリア教育・進路学習の報告を行い、本市生徒が夜間学級で学ぶ意義を、自身の体験を交えて発表した。 このような実践や蓄積を再整理し、より発展させながら個々の生徒の学習状況及び学習目的に応じた日本語の指導内容や指導方法の在り方について、教育環境の整備を含めた研究を行う。 具体的には、夜間学級で日本語を学習する生徒が日本語を習得した上で日本社会に適応し、自立した社会生活を営むために必要な日本語力を身に付けられるような教育課程、授業形態や内容等について、継続して研究推進する。 日常会話に留まらない学習言語の獲得に向けた指導の充実に向けて、市内2校ある夜間学級間の連携はもちろん、本市日本語指導拠点校等との連携を図る。これにより、今後さらに重要性が高まりニーズが多様化するであろう夜間学級、夜間中学の全国的な設置促進、充実に資する発展的な先進事例を創出し、その成果や課題の共有を図る。 ○ また、日本人生徒が数名に留まる傾向や理由について調査するとともに、関係課と連携し、民間の日本語教室や在日外国人支援団体等との連携についても検討する。
調査研究の成果	【広島市立二葉中学校】 【広島市立観音中学校】 別紙のとおり